

NTTは50歳退職再雇用制度を廃止せよ!!

# LALUZ

2008年4月24日(木)第55号

**N関労** 西日本NTT関連労働組合

発行責任者 横林 賢二

連絡先： 尼崎市西長洲町2-2-1 NTT 尼崎別館内

Tel.090-1070-6839 Fax.078-796-2434

Eメール: w-nkanro@cpost.plala.or.jp

<http://www.n-kanrou.com/>

## 執拗な「退職勧奨」はねのけ、北陸に残る

### 会社は選択の自由を尊重せよ！！

今年「50歳退職・再雇用」で満了型を選択したハイホン北陸富山事業部設備部富山MIサービスセンタの土肥幹生さんの勤務先が金沢支店に決まった。

地元富山とはならなかったが北陸へ残ることができた。N関労としても大きな成果だといえる。だが、満了型での10年は長い。今やっとスタート地点に着いたということだろう。

この闘いでは会社の過度な退職勧奨について団体交渉等を通じ、多くのことを学ぶことができた。

その一端を紹介したい。

ハイホン北陸との交渉で会社は「『50歳退職・再雇用』は本社からの委託で行っている」ことを明らかにし、土肥さんに対しては「相談に乗った」「アドバイスをを行った」としている。だが、本社交渉では大きな食違いが明らかになった。本社は委託に関して「文書でなく、口頭で十分な説明をしてください」と注文を付けている。「あくまでも説明であり、納得いくまで説明するよう依頼している」と言うのである。

だが、ハイホン北陸で行われた言動は「説明」ではそれこそ説明できない。後藤センタ所長の本人に承諾を得ず、土肥さんの自宅を訪問したことなど全く「説明」とは辻褄が合わない。とすればハイホン北陸は委託されてもいないことまでボランティアで行ったのだろうか。

ここである仮説を立てるといとも簡単に「説明」がつく。本社は「満了型を選択しないよう退職勧奨を行え」と指示。もちろん後から本社からの指示だとされ

ないよう口頭での依頼となる。そこでハイホン北陸はそれを実行した。この仮説どうだろう？

もう一つは「退職勧奨」を防ぐ技である。インターネットで検索すると「下関商業高校事件」の判例などが詳しく紹介されているが、あるサイトにこういうのがあった。会社の退職勧奨にたいしては「立会人を立てるか代理人を通しなさい」というものである。会社は「個人の問題に立会人や代理は馴染まない」として拒否してくると思われるが、本人の意向を無視した直接の退職勧奨は違法に限りなく近いとしている。

兎にも角にも会社には「選択の自由」を尊重するよう警告しておく。

2008春闘

### 3・13時限ストを打ち抜く

大幅賃上げ、50歳退職・再雇用制度を廃止せよ、成果主義賃金制度を廃止せよ、などの諸要求を掲げ、NTT西日本や、西日本各地の地域会社、ネオメイト等での時間外労働拒否、腕章着用などの行動を背景に会社側を追及してきたが、ゼロ回答に終始する会社側に抗議し、3月13日、兵庫県尼崎ビルにて1時間の時限ストに突入、これを打ち抜いた。

当日はN関労と同じく、1時間の時限ストに突入した通信労組と共同の突入集会を決行した(次ページにスト当日写真掲載)



挨拶するN関労横林委員長



力強くシュプレヒコール



集会後の両労働組合の面々

## 労働者魂を呼び起こす

【広島発】初めて福山（広島県）の地でN関労の存在を明らかにした私たち2名でしたが、妨害や批判的な言動を見ることはありませんでした。

他労組に先駆けて着用した真紅の腕章は、私たちにとって久々に眠っていた労働者魂を呼び起こし、癒着、

右傾化した労働運動の中で、むしろ誇りをもった行動が出来たことに大きな喜びが持てました。

以下職場の声を簡単に報告します。

赤い腕章に目を留めた職場の仲間が声をかけてきます。Tさん「N労はるくなもんじゃあない。会社ベツタリでしてくる」。Hさん「N関の関とはどういうことか?」。Tさん（女性派遣社員）からは「Nカン口ウって何?」という疑問などです。

私から「今回N関労は5万円の賃上げ要求を掲げて闘っている。N関労と言う労働組合は正規社員だけの労働条件を守ろうと言う組合ではなく、非正規雇用の労働者、ネオメイトサービスの人もNTTに関連して働く全ての労働者の労働条件を守ると言うことで立ち上った組合だ」と話すと「それはいい事だ、賃上げは多いほどいい」、「私らも長く働かせてもらわないといけんからねー」と言う反応がありました。

初めてN関労の組合員であることを明らかにして08春闘に取り組んだ私たちでしたが、福山の職場に一定のインパクトを与えたと思えます。

## 後悔したくない

NTT金沢支店勤務 土肥 幹生



右端が土肥さん、金沢・白鳥路ビル前で

現在の家を購入するに当たり、5年前、住宅ローンの支払いをどうしようと悩み、苦しみました。「50歳退職・再雇用」に応じたら生活できるかわからない

「満了型」しかないと決心した末、購入を決めました。

「50歳退職・再雇用」の年になりましたが、自分の周りを見渡したらOS会社を選択した人しかいません。安心して相談できる人も見当たりません。途方にくれました。

また、以前から足の悪い母が、平成18年2月入院中に転倒し、脊椎圧迫骨折で動けなくなってしまいました。介護申請を申し立て4月では要介護3級と認定されました。8月には再認定で要介護1級に降格しましたが症状は変わりません。でも何とかして満了型選択の準備をしなくてはいけない、どうしようかと思案していたところ、インターネットで西日本NTT関連労働組合を見つけメールを送ったのがきっかけです。何回かのメールのやり取りで富山まで直接相談に来ていただき、ビックリしました。尼崎からわざわざ北陸の富山までお越しいただき恐縮しました。感謝感激です。その場で西日本NTT関連労働組合への加入を申し込みました。

10月に入り上期の期首面談が始まりました。期首面談で「50歳退職・再雇用」では迷っていると答えたのがいけなかったのか、平均1時間監禁状態の説得活動が始まりました。「満了型」選択の意思を伝えた後も数回説得活動はつづき、計5回にも及びました。その間同僚・先輩から連絡が入り最低10回は監禁状態になっているとの情報も入ってきました。

最終的に、私の知る限り北陸では2名が満了型を選択し、1人は大阪南センタへ配転になりましたが、私は金沢支店に残ることができました。N関労のおかげです。ハイホン北陸との2回の団体交渉、大阪西本社、交渉窓口への度重なる交渉のお陰です。

「50歳退職・再雇用」での選択は自由なはずですが、「満了型」を選択するとなぜ会社から不当な弾圧を受けねばならないのか納得がいきません。一刻も早く

「50歳退職・再雇用」のような理不尽な制度をなくすよう今後も、職場の仲間と一緒に闘っていきたくと思います。

今回の人事異動の経緯はいろんな噂が飛びかっていると思いますが、会社・N労・社員に対し、一石を投じた思いです。決して思い上がりの気持ちはありませ

ん。5年前から思い悩み、苦しみ抜いた結果です。後悔したくなかったのです。必ずや後につづく仲間がいることを願っています。また、今後の私の行動を会社や仲間が見ていると思います。会社に負けてたまるかの一心です。

## 公共サービスに競争入札は似合わない 尼崎市は競争入札をやめよ!!

### 直接雇用しか解決の道はない!!



家族ぐるみでたたかう武庫川ユニオン市役所分会の仲間

3月17日、尼崎市市役所横の橋公園で「競争入札の強行反対！官製ワーキングプアを許さな！」と題した「武庫川ユニオンを支援する決起集会」が開催され、N関労からも4名が参加した。

尼崎市役所で住民票入力業務担当として働く派遣労働者の女性5名（武庫川ユニオン組合員）は3月3日より、労働条件の改善、直接雇用を求め、無期限ストライキに突入。今回の決起集会は4年間の雇用の約束を反故にし、同業務を入札にかけ（21日予定）より安価な派遣社員に切り替えようとする尼崎市に対し、競争入札の強行を阻止するため、急遽取り組まれたものの。

開会時間が午後4時45分という、参加条件が悪いにも関わらず、公園には支援者約300名が各自、組合旗や幟を手に駆けつけた。中には東京や名古屋からの参加者も・・・。

主催者のあいさつの中で武庫川ユニオン小西書記長

は「武庫川ユニオンで 20 年間闘ってきたが、その中で今回の争議が一番腹が立つ。ワーキングプアを生み出している尼崎市は公共サービスを実施する資格があ



競争入札をやめよ、と力強いシュプレヒコールするのか」と怒りを露にしたあと「広がり始めた闘いは負けるわけが無い。最後までストライキで闘ぬく」と力強い決意を述べた。

集会は市庁の敷地をぐるりと回るシュプレヒコールで解散となったが、参加者全員がひとつになることができた集会であった。

**後記** 尼崎市は3月21日、競争入札を強行。しかし、入札した業者も全国からの抗議に屈したのか辞退するに至った。武庫川ユニオンは事態收拾の最後のチャンスだとして尼崎市に交渉を申し入れたが、尼崎市はこれを拒否するばかりか再度の競争入札を示唆。4月7日に二度目の入札を実施。結果は13社の指名に対し、入札開始までにすでに10社が辞退。残る3社の内、2社は当日辞退し、残る1社も予定価格を大きく超えたため不調となった。武庫川ユニオン勝利の時である。尼崎市は交渉の席に着かざるを得なくなり、4月11日に団体交渉が再開された。1ヶ月にもおよぶストライキを打ち抜いた彼女たちは4月14日より市の臨時職員として元気に働いている。また、彼女たちはこの闘いが明らかにした課題を5点ほど挙げているが、その中の一つとして「非正規労働者が自ら立ち上がることが重要」だとしている。自分自身が立ち上がらなければ何も変わらない・・・まさしくそれを実証した闘いであった。

## 2008 メーデー川柳

「偽」を晴らし 怒りのメーデー 晴れて「ゲー」  
(ひとこと・・・必ず晴れます)  
橋に 勝利の春風 吹き抜ける  
勝利にも 心に残す テントかな  
(1年後も闘う姿勢が必要かも・・・武庫川ユニオン  
尼崎市役所分会、競争入札をうちやぶり、直接雇用か  
ちとる)  
ハンドルの 向こうに見える 「偽」の信号  
年金も 命も削れと 国は言う  
天引きで 命の引き際 教えます  
(道路問題と保険医療制度の改悪・・・一方で使い放  
題、一方で天引き)  
ここまで来た 怒りが前期 後期にも  
(横林)

We Seek Justice!!

人らしく生きさせる!

### 第13回被災地メーデー

とき 5月1日(木)  
11時30分~15時30分  
ところ 神戸市・湊川公園  
内容 屋台村、連帯のひろば、熱唱\$熱笑  
inみなとがわ、お楽しみ抽選会など



写真は第11回被災地メーデーから